



【目次】

- ・はじめに
- 1. 見附駅周辺整備事業の概要
- 【特集】 雨水貯留槽の整備
- 2. 見附駅周辺に交流や賑わいを！
- 【特集】 みつけ駅周辺つかう会議

見附駅に関する情報は QRコードからチェック！



バックナンバーも掲載しています。

・はじめに

令和2年度より、いよいよ工事に着手！

見附駅周辺整備事業の関連情報をできるだけわかりやすく発信していくためのツールとして、情報チラシ『出発進行 -見附駅周辺整備トピックス- 2019年度 秋号 (vol.1)』を初めて発行しました。

これから見附駅周辺整備事業の工事が本格的にスタートします。本情報チラシでは、再整備後の駅がどの様になるのか、どのような機能が加わるのかなど関連する情報をタイムリーにお伝えしていきます。今号では、令和2年度からの工事着手を前に、初年度に予定している駅東口周辺地域の『浸水対策』の取り組みを中心に紹介します。

「見附駅周辺の安全・安心の確保」 駅へのアクセス道路の浸水解消に向けて

駅へのアクセス道路は、**強い雨が降ると浸水**し、過去には歩行者や自動車等の通行に支障をきたすことが度々ありました。過去の浸水では、道路が著しく浸水し、**通行止めとなるなど駅への幹線道路が利用できなくなる事もありました。**

そのため、見附駅周辺整備事業の第1ステップとして、**令和2年度より浸水対策のための工事に着手します。**

※ 本事業は見附市公共下水道事業計画に基づく浸水対策事業です。

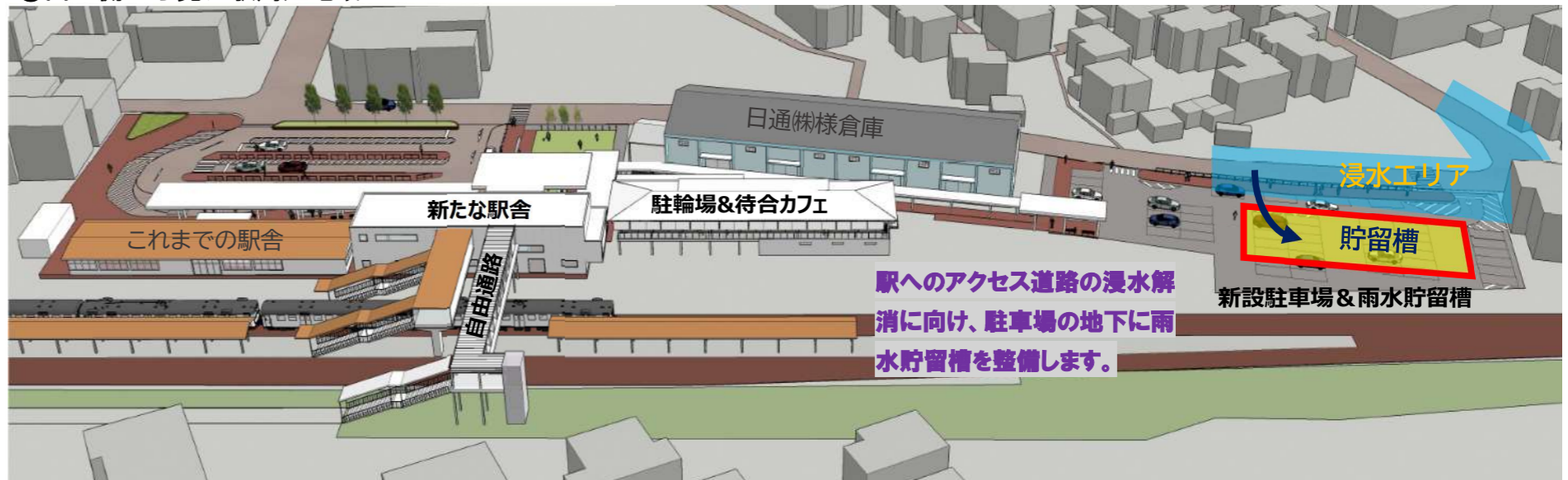


見附駅周辺整備イメージ図

①東口側から見た駅舎と交流広場周辺



②西口側から見た駅周辺地域



- 本情報チラシでお伝えする主な内容は・・・
- ・ 駅周辺整備の概要やスケジュール、工事の際の交通規制に関する情報
- ・ 駅周辺地域において“にぎわい”や“交流”を創出するための取り組み
- ・ 社会実験として取り組む『みつけ駅周辺ミライ実験 ～みつけるプロジェクト～』に関するイベント情報をお伝えします。

【特集】 雨水貯留槽の整備

駅へのアクセス道路の浸水の軽減を目的として、新設駐車場の地下に鉄筋コンクリート製の雨水貯留槽を整備します。雨水貯留槽は、10年に1度の降雨^{*}に対応するため、約530m³を貯留できる大きさとなる予定です。

※ 市の計画降雨：10年に1度の降雨で、降雨強度は最大43.6mm/時



貯留槽とは・・・

豪雨の際に、既存の排水路では流しきれない雨水を一時的に貯めるもので、降雨がおさまると、既存の排水路へポンプで排水します。

← 駐車場の地下に整備される雨水貯留槽のイメージ図

・工事スケジュール（予定）

工事箇所は駅にも近く、歩行者や自転車、自動車の交通量が多い道路の沿線に位置しています。そのため、一般の方々の利便性や安全性を考慮し、以下の工事スケジュールを予定しています。工事の際には、**一時的に通行止めや規制等が行われる事が予想されます**ので、通行の際には**現場の案内にしたがってください**。ご迷惑をお掛け致しますが、工事にご理解いただき、ご協力をよろしくお願い致します。

工事区分	令和2年度	令和3年度
雨水貯留槽	5月から 12月末まで	
新設駐車場		5月から 12月末まで
	冬期間作業休止	
		1月以降 暫定供用予定



【特集】みつけ駅周辺つかう会議

みつけ駅周辺つかう会議（通称：つかう会議）とは？

見附市では、見附駅周辺の空間を車のためだけでなく、人（歩行者）のための空間とすることを目指し、駅周辺地区の再整備を検討しています。

そこで、主に使う人（市民や民間、駅利用者の皆さん）の立場から賑わいや交流について考え、アイデアを形にしていくための集いとして「みつけ駅周辺つかう会議」を立ち上げました。



今年度はつかう会議の活動として、7月末に駅東口の駐輪場を会場に、小・中・高校生が参加してのトリックアートの製作に挑戦しました。トリックアートは、見附市出身の漫画家・ひろさきころも様にご協力いただき、床面に迫力ある作品を描きました。絶対に『落ちない』クレバスです！



トピックス



「昨年トリックアート作成にご協力いただいた”ひろさきころも様”よりつかう会議の事務局宛に年賀状が届きました。かわいらしい年賀状でしたのでご紹介します。今年も、ひろさき様と何かコラボできたら嬉しいです。ひろさき様の更なるご活躍を期待しております。」



9月と10月には、昨年引き続きみつけるプロジェクトを開催しました。今回は、みつけるプロジェクトの定着を目標に、企画内容を充実させました。

今年度のみつけるプロジェクトでは、昨年の集客を大きく上回る約5,200人の方々よりご来場いただきました。みつけるプロジェクトの企画においては、『見附でも面白い事をしてみたい。これまでに無い魅力を作りたい。』というつかう会議のメンバーのアイデアが沢山つまっています。現在のみつけるプロジェクトは、社会実験としての実施ですが、この様な



取り組みの中から見附駅の再整備に関する設計のヒントが生まれています。



今後のみつけるプロジェクトの活動にもご注目ください。



みつけ駅周辺つかう会議に参加しませんか？



若者の意見より
(若者：高校生や大学生、専門学生)

Q.みつけ駅周辺つかう会議に参加しての感想は？

- たくさんの人と意見交換でき、いろいろな考えを知る事ができた。
- 将来の夢を見つけられた！
- 楽しい思い出が増えた！
- 社会貢献活動として大きなメリットになった！
- もっとすごい企画に来年はチャレンジしたい！

つかう会議の参加者全員が『大変楽しく参加できた』との回答でした。

参加メンバーは、駅周辺の使い方に興味を持つ市民や地元企業関係者、高校生や大学生など、様々な年代や業種の方々が参加して活動しています。

【つかう会議メンバーの構成】



あなたのアイデアをかたちにしてみませんか？



高校生、普段は駅を利用しない人、子育て中のママ、自宅は市外、職場が見附の人、飲食店のオーナー

大歓迎♪



みつけるプロジェクトとは？

みつけるプロジェクトは、再整備後の駅周辺を、多くの市民に使われる居心地の良い空間にするにはどうしたらよいかを考え、まずは市民の方々が使ってみたいと思う通りに使ってみる社会実験としての取り組みです。みつけるプロジェクトは、つかう会議のメンバーが主体となって企画・準備・実行しています。



つかう会議の活動に興味のある方、ぜひ参加したいという方はQRコードからアクセスしてください。
+*+お試しでの参加もOK+*+



つかう会議に関する問合せ先：みつけ駅周辺つかう会議事務局（見附市役所企画調整課内）
TEL：0258-62-1700(内線316) e-mail：kikaku@city.mitsuke.niigata.jp